

普及活動情勢報告

情勢報告（平成28年2月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

大井川地区集落営農講演会を開催



2月8日、四万十町昭和地区の大井川集落で、普及所の呼びかけにより、町内の（農）藤ノ川ファーマーズの理事を講師に招き研修会を開催しました。任意組織設立から法人設立・運営についての内容で、21名の参加者が熱心に聞き入っていました。

講演終了後、集落営農推進のための体制や今後の活動について、話し合い、28年度も協議を継続することに同意が得られました。

今後も関係機関と連携し、集落営農組織設立に向けて支援を行います。

集落営農の先進事例研修



2月1日～2日、農家、関係機関職員22人が参加して、（農）ファーム・おだ及び自治組織「共和の郷・おだ」、（農）かみみながを視察しました。

高南農改は、視察先の調整や参加呼びかけなど、関係機関と連携して実施を支援しました。

参加者からは、「自分達の地域も将来ビジョンを立てていかなければならない。参考になった」といった意見が聞かれました。

今後は、それぞれの地域での営農の仕組みづくりを支援していきます。

新規就農研修支援事業を活用した研修状況の確認



2月5日、今年6月の就農に向けて指導農業士（ニラ）のもとで研修を行っている研修生と受入農家、関係機関が集まり、1月の研修状況の確認を行いました。ハウス換気や育苗管理、病虫害防除等の研修を重点的に行い、外部研修でJA四万十ニラ部会の現地検討会に参加した研修生からは、「換気や灌水の仕方、防除のローテーション等、学んだことを就農後の管理に役立てたい」という声が聞かれました。

今後も、関係機関による毎月1回の研修状況確認を継続し、研修生のスムーズな就農に向けて、サポートしていきます。

第2回 高南地区農業改良普及推進協議会



2月25日、普及推進協議会を開催し、今年度の普及指導活動の取組み実績及び次年度の普及指導計画の概要について農家代表・関係機関の担当者に報告・説明しました。農家代表から「今年度からニラで炭酸ガス発生装置を導入しているが、生産者によって効果が異なり、葉先枯れも一部で発生している。今後解決策を考えて欲しい」「中山間の条件不利地で、営農支援組織が安定経営を行うためにはハード面の整備がどうしても必要だ」等、貴重な意見を頂きました。これらの意見を今後の普及活動に活かしていきます。